



ハグイオンレター



FROM ユアブレーション 尾上会計事務所



中小企業向け補助金が

P1

3,400 億円に増額して復活

先日発表されました令和6年度補正予算案に関連して、中小企業生産性革命推進事業の概要は以下の通りとなるようです。設備投資をご検討の事業者様は、ご注目ください。

事業目的

中小企業は、物価高や賃上げ・最低賃金引上げ、人手不足、制度対応等の事業環境変化に対応し、それらの“稼ぐ力”を強化する必要がある。こうした“稼ぐ力”を伸ばすためには、成長志向の中小企業による飛躍的成長や中小企業・小規模事業者の生産性向上を促すことが重要であり、それらの成長投資や革新的な製品・サービスの開発、販路開拓、海外展開、M & A、人材育成等をハード・ソフトの両面で支援する。

成果目標

各事業を通じて事業者の成長や生産性向上を促し、事業終了後の生産性、給与支給額等の向上を目指す。

事業概要

成長志向の中小企業による飛躍的成長や中小企業・小規模事業者の生産性向上を実現するため、以下の事業を実施する。

(1) 中小企業成長加速化支援事業(中小企業成長加速化補助金)

売上高 100 億円を目指す成長志向型の中小企業の潜在的な投資を最大限引き出すため、大胆な設備投資を支援する。また、新事業・新分野進出、M&A等の中小企業が抱える高度な課題を解決するための官民一体での支援体制の構築や海外展開支援、人材育成・人材確保への支援、これらの支援に必要な基盤整備等を実施する。

(2) ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業(ものづくり補助金)

中小企業等が行う、革新的な製品・サービスの開発に必要な設備投資等を支援する。

(3) サービス等生産性向上IT導入支援事業(IT導入補助金)

中小企業等の労働生産性の向上を目的として、業務効率化やDXの推進、サイバーセキュリティ対策、インボイス制度への対応等に向けたITツールの導入を支援する。

(4) 小規模事業者持続的発展支援事業(持続化補助金)

小規模事業者等が自ら経営計画を作成して取り組む販路開拓等の取組を支援する。

(5) 事業承継・M & A支援事業(事業承継・M & A補助金)

事業承継・M & Aに際し、設備投資等や、M & A・PMIの専門家活用費用等を支援する。

(6) 先進事例・支援策の周知広報や相談対応・ハンズオン支援

制度対応にかかる相談支援やハンズオン支援を実施するとともに、国内外の事業拡大等にかかる専門家派遣等を支援する。



給与処理の合理化を行うのは今です！

P2

TKCのPXという給与計算ソフトをお使いいただくと、一気に合理化が進みます！
(機能によっては別途マイポータルへの加入が必要です)

1. 給与明細のメール送付

給与明細を手で折って封筒に入れて手で渡すという作業はなくなり、コストも一気に下がります。

2. 金融機関への振込データの作成

金融機関への振込データは自動作成されて、インターネットバンキングへ連動できます。

3. 源泉所得税と住民税のダイレクト納付への連携

納付書を記載することなく、先日付での納付の予約がいとも簡単に完了します。もちろん銀行へ支払いに行くことも小切手を切ることもありません。

4. 住民税の個人別年間徴収額のデータ入力

毎年6月からの個人別住民税徴収額は、市町村からデータで受け取って自動入力できます。

5. 年末調整のオンライン化

年末調整もオンラインで各自入力してもらうことにより、経理担当者の負担が大きく減ります。

6. 給与支払報告書のオンライン提出

法定調書とともに各市町村へ提出される給与支払報告書は、会計事務所からオンラインで自動送信できます。

7. 社会保険料・労働保険料の申告書の作成

毎年の社会保険料の算定基礎届や労働保険料の申告書の作成も、給与ソフトで入力したデータをもとに自動作成できます。

8. 会計ソフト(TKC/FX)への自動仕訳の作成と連動

仕訳情報を設定しておけば、給与処理から自動的に仕訳を作成し、会計ソフトへ連動できます。

9. 退職時に必要な資料の作成

退職所得の受給に関する申告書や資格喪失届・離職票なども作成できます。

10. 給与に関する様々な分析

支給総額や残業手当額の順位、1人当たり支給総額の推移、年次有給休暇の消化率、支給総額分布・同業他社比較等も可能です。

給与処理のスタートは毎年1月からとなります。切替をご検討の際には、当事務所担当者へお尋ねください。

※新たにハクシオンレターの配信先をご紹介頂ける場合には、お手数ですが□に✓を入れご返信ください。

□ 下記へ配信してください。

ユアブレーション 尾上会計事務所 宛

FAX 079-288-0997

会社名 _____

TEL _____

FAX _____



「質問力」とは

P3

質問力とは、不明点や疑問点などを問いかける能力です。基本的に相手がいることを前提とする能力なので、コミュニケーション能力の1つといえます。質問力が高いと、様々なビジネスシーンで役立ちます。

メリット

：相手に関心を持っていることを示せる

「質問する」という行為は、相手に関心を持っていることを示すことにつながります。

「自分に関心を持ってくれているんだな」と、相手から好意を抱いてもらいやすくなります。

：相手とスムーズに人間関係を築くことができる

質問力が高いと、効果的に相手から話を引き出すことができるので、相手について深く理解できるようになり、互いの心の距離感もぐっと近づくことができます。

：相手からより多くの情報を収集できる

質問力が高いと、質問者と回答者の双方にメリットのある、質の高い情報をより多く引き出すことができます。

質問の種類

2種類の質問を状況によって使い分けていくことが大事です。

クローズドクエスチョン

「はい」「いいえ」の二者択一で相手が明確に答えられる質問や、回答の範囲が限られている質問です。例えば、「最近何かはまっていることはありますか?」といったものです。

オープンクエスチョン

回答の範囲を限定せず、相手に自由に答えてもらう質問です。例えば、「最近〇〇にはまっているんですね。それはなぜですか?」といった、明確な答えのない、人によって異なる回答が返ってくるものです。

質問は、状況と目的に応じて使い分けが大事

質問は、相手との距離感も考えながらすることが重要です。初対面の場合は、クローズドクエスチョンで簡単に相手が答えられるところから始め、徐々にオープンクエスチョンに展開しながら聞き出していくといった流れがおすすめです。深い質問は、相手との距離感が近くなってから徐々にしていきましょう。

※今後ハクシヨソレターの配信をご希望されない方は、お手数ですがにを入れご返信ください。

今後希望しない

ユアブレーション 尾上会計事務所 宛

FAX 079-288-0997

会社名 _____

TEL _____

FAX _____



良い質問と悪い質問

シーンにもよりますが、質問には「良いもの」と「悪いもの」があります。

良い質問とは

相手の意見や体験など、相手に聞かなければ分からない問いです。相手が「それは考えていなかったなあ」と相手も気づいていなかった考えを引き出すような質問も該当します。

悪い質問とは

Google で検索したら分かるような、単なる知識を問うものです。事前に情報収集したら分かるような質問は、悪い質問に当たります。そのくらいはご自分で調べてきてくださいとなり、相手からの信頼もマイナス評価になるでしょう。

質問力を鍛える方法

質問力を高めるために、ぜひ日常で取り組んでいただきたいことを3つご紹介します。

方法 : 質問力が高い人を観察し、まねる

どのようなシーンで、どのような質問が適切なのか、常に考えるようにしてみましょう。

客観的に「こういう質問をしたら、こういう反応が返ってくるんだな」と学ぶために、自分以外の人同士が話しているのを観察してみることをおすすめします。

そして、周囲や著名人で「この人は質問力が高いな。質問をした後の相手の反応も良いし、話を引き出すのが上手い」と思う人がいたら、ぜひまねてみてください。

方法 : 相手からの質問を振り返ってみる

自分がされた質問に対して、客観的に「良い質問だな」「悪い質問だな」と、質問自体を振り返っていくこともおすすめです。

「なぜあの質問は答えやすかったのか。聞かれて嬉しかったのか」「なぜあの質問は答えにつまったのか。不愉快に感じたのか」など、理由を考えてみてください。

そして、「じゃあ逆に自分は相手にどういう質問をしていこうか」というところまで考えてみるようにしてみてください。

方法 : いろいろな質問の切り口をもつ

ぱっと相手に具体的な質問ができるようになるため、5W1H など質問の切り口も持っておくことをおすすめします。

ネットから抜粋して加筆編集したのですが、いづらかでも参考になれば幸いです。

※今後ハクションレターの配信をご希望されない方は、お手数ですが□に✓を入れご返信ください。

今後希望しない

会社名

ユアブレーション 尾上会計事務所 宛

TEL

FAX 079-288-0997

FAX